

# お堀の外來種を駆除

## 東雲高 堆肥化・食用に活用へ

篠山東雲高校の生徒7人がこのほど、篠山城跡東馬出堀で駆除活動を行った。ウシガエルは捕まえられなかったが、ウシガエルのオタマジャクシ12匹などを捕獲した。4年目を迎える取り組みで、今年度も月1回程度のペースで活動する。

もんどり網を10カ所に、ウシガエル捕獲に有効な定置網を1カ所に仕掛けた。

外来種では、ブルーギル159匹、アメリカザリガニ104匹も捕獲した。在来種のスジエビ115匹、モツゴ315匹、ギンブナ17匹も確認。在来種は、個体数を数えた後、堀に戻した。

捕獲した外来種は、学校に持ち帰って堆肥化し、農作物栽培に生かす。料理としての活用も模索する。

君（1年・篠山中出身）は「思ったより在来種が多くてびっくり。捕まえた外来種は、命のありがたみを感じながら、大切に活用してあげたい」と話していた。

東馬出堀ではウシガエルの増え、うなり声のよるな鳴き声に近隣住民が悩まされていた。地域の課題解決に向け、同校は2019年から自然科学部の部員が中心になり、力している。

ウシガエルの駆除活動に取り組んでいる。市も協力している。

2022年6月16日  
丹波新聞

特定外来生物のウシガエルなどを捕獲し、有効活用する活動に取り組み



網を引き上げ、捕獲した生き物を確認する生徒たち。丹波篠山市東新町で